

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
H203	日本経済論 / 日本経済論 I	2年	講義	2	今喜史
<b>授業概要</b> 少子高齢化や経済のグローバル化など、日本経済はさまざまな問題に直面しています。この講義では、現実の経済データをていねいに読み解くことによって、日本経済はなぜ現在のような事態になっているのか、そしてこれからどのように変化していくのかを議論します。取りあげるおもなテーマは、マクロ経済、財政、労働、貿易、金融、地域経済などです。経済学の幅広い分野の中から、時事の話題を手がかりとして、毎回ひとつのテーマを紹介します。世の中の通説に流されることなく、自分の頭で「何がほんとうに問題なのか」をじっくり考えるための知識を身につけてください。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> ①現代の日本経済が直面するさまざまな問題について、データに基づいて「何がほんとうに問題なのか」を理解できる(DP3) ②賛否が分かれるような経済問題に対して、それぞれの主張にどのような根拠があるのかを整理したうえで、自分なりの意見を説明することができる(DP3)					
<b>授業計画</b>					
回	表題	学修内容			
1	日本経済の現状	日本経済にかんする基本的なデータを概観し、統計と理論の役割を理解する			
2	マクロ経済の視点	日本経済の全体としてのパフォーマンスを示す指標について知る			
3	「景気が良い」とはどういうことか	最近の国内総生産(GDP)の動きについて理解する			
4	デフレからの脱却	景気と物価の関係について理解し、なぜ「デフレ脱却」が目標とされるのかを考える			
5	金融緩和とはなにか	日本銀行が行っている政策の意図と効果を検証する			
6	財政の持続可能性	財政赤字の現状を正しく認識し、将来に向けての課題を考える			
7	少子化のもたらす影響	人口減少について、データに基づいてマクロ経済への影響を議論する			
8	地方の過疎化と東京への一極集中	国内の人口移動について知り、過疎と過密が同時に起こっている問題を理解する			
9	雇用と賃金の動向	日本の賃金や失業率の動きを、諸外国と比較しながら理解する			
10	貿易政策をめぐる議論	貿易自由化への日本の取り組みについて、諸外国の情勢を踏まえて議論する			
11	株価・地価の変動	資産価格の変動について、基本的なメカニズムと歴史的な出来事を学ぶ			
12	円高・円安と日本経済	為替レートとはなにかを知り、その変動が日本経済に与える影響について議論する			
13	官と民の役割	公共部門の民営化が進むことの是非を考える			
14	グローバル化と大企業の活動	多くの産業において、世界的に活動する大企業による寡占が進む現状を知る			
15	講義のまとめ・日本経済の未来	各テーマで学んだ内容を総括し、日本経済の未来について自分なりに見通しをもつ			

準備学修(授業外の自己学修)  
 日常生活の中で、新聞やテレビのニュースを意識して観察するようにしてください。とくに、講義の内容と関連する問題をひとつえらんで、期末レポートとしてまとめるための準備を日ごろから進めておいてください。

成績評価の方法・基準(%表記)  
 期末レポート(80%)、講義時間内に配布する確認シート(20%)

観点	S	A	B	C
現代の日本の経済問題を、適切なデータに基づいて理解しているか(DP3)	非常によく理解している	よく理解している	ある程度は理解している	最低限は理解している
日本の経済問題に対して、自分なりの解決策を具体的に説明することができるか(DP3)	非常によく説明できる	よく説明できる	ある程度は説明できる	最低限は説明できる

教科書  
 特に指定しません。  
 講義で使用するプリントなどの資料は、すべて教室で配布します。

参考書等  
 吉川 洋(著)、『デフレーション』、日本経済新聞社、2013年、本体1800円。  
 櫻井 宏二郎(著)、『日本経済論』、日本評論社、2018年、本体2600円。  
 佐藤 泰裕(著)、『都市・地域経済学への招待状』、有斐閣、2014年、本体1800円。

履修上の注意・学修支援  
 経済にかんするニュースで疑問に思うことがあったら、講義の後やオフィスアワーなどに気軽に質問してください。